

資料紹介

参考室に備え付けの資料のうち、使えば便利だが、それを知らぬ人が案外多いものについて2, 3述べてみよう。

雑誌記事索引 (国会図書館編) あるテーマに関する最近の文献にどんなものがあるかを知りたい時は、まず本書の利用が考えられる。これは月刊の索引誌であって、科学技術編(昭和25年1月～)と人文科学編(昭和23年9月～)とに分れている。前月までに発行の諸雑誌に掲載された学術論文を、毎号各編約4000ずつ主題別にリストアップし、著者、題名、掲載誌を挙げてある。本館には科学技術編第2巻、人文科学編第4巻(いずれも昭和26年)以降を所蔵している。これによって目的の文献の掲載誌がわかれば、自館の目録または文部省大学学術局編さんの「学術雑誌総合目録」でその掲載誌の所蔵館が判明するから、これを併用して目的の文献に到達できる。

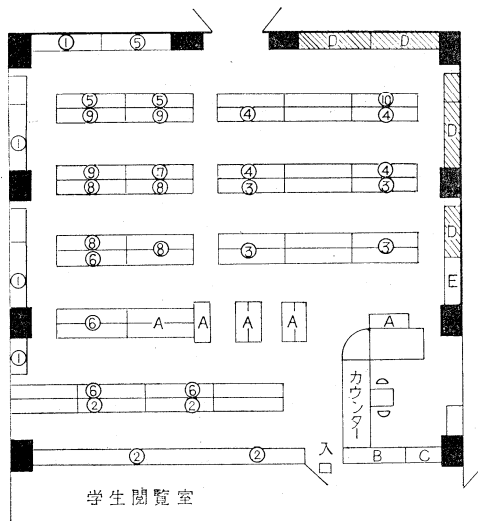
文科系文献目録 (日本学術会議編) 上記と類似の資料であるが、日本学術会議第1部(文学、哲学、史学)に属する分野の文献に限られ、昭和20年8月以降の単行書・雑誌に発表された文献をそれぞれ専門分野別に編集したものである。昭和27年に第1編を刊行し現在第17編(昭和39年刊)まで出ている。各編の内容は次の通りである。

1 日本文学 2, 12 西洋文学・語学 3 東洋文学・語学 4 宗教関係学術 5 日本民俗学 6 国語学 7 教育学 8 日本古代史 9 西洋古典学 10 中国哲学・思想 11 美学 13 文化人類学 14 日本近代史・伝記 15 日本人の性格研究 16 倫理学 17 考古学
なお本館には第1編より所蔵している。

開架図書室からのお知らせ

— 指定書の混排と図書排架の移動 —

従来指定書は、一般図書と書架を異にし、別置していたが、利用者の便宜を考慮し、一般図書と混排し、分類順に排列した。それに伴い開架図書室の排架が、下図のように、大移動したのでお知らせします。



1. 宗教・哲学・教育
2. 法律・政治
3. 経済・社会
4. 文学・語学
5. 歴史・地理
6. 自然科学
7. 医学
8. 工学・芸術
9. 産業
10. 全書・叢書
- A. 新着雑誌
- B. 年鑑・白書
- C. 小型辞書
- D. 法・経製本雑誌
- E. 教官文庫